

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0225

		令和5年度行政事業レビューシート			( 文部科学省 )		
事業名	科学技術国際活動の推進			担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際戦略担当)付	参事官(国際戦略担当) 大土井 智	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	政策7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費		
施策	施策7-3 科学技術の国際活動の戦略的推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20200930-mxt_kanseisk02-000010162_01.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	研究者の科学技術国際活動の状況について調査し、各国との持続的な関係構築を促進するための基礎的情報として活用されることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	本調査結果は、科学技術国際活動の状況公開や施策検討のための基礎的情報として継続的に貢献してきており、調査の項目や観点等の継続性を確保して実施していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	我が国の国公私立大学・独立行政法人等の研究者の派遣・受入数を国別、期間別といった観点から調査し、諸外国との年間の研究交流状況等を分析する。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	5	5	18	18	18
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	5	5	18	18	18
執行額(G)	5	5	7.7				
執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	43%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	100%	100%	43%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	科学技術・学術政策推進費					
	(目)	科学技術試験研究委託費	18	18			
		その他					
	計(A)		18	18			

活動内容① (アクティビティ)		研究者の所属機関への科学技術国際活動の状況の調査を行い、結果を公表することで、各国との持続的な関係構築(戦略的な国際共同研究や政府間会合等)の促進、および国際交流の推進を支援する。□								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究者の持続的な国際交流の活性化、関係構築に向けた取組の増加を目標とする。	調査結果に係る概況資料における調査項目・観点数を活動指標とする。	活動実績	項目数	12	12	12	13	-
				当初見込み	項目数	10	10	10	10	10
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		本調査の目的は、科学技術国際活動の状況公開や施策検討のための基礎的情報の提供であることから、多数の媒体での公表によりその利活用促進に繋がるものと捉え、政府文書(科学技術白書等)の掲載回数をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		政府文書への掲載回数を毎年3件以上に維持する。	政府文書(科学技術白書等)の掲載回数を成果指標とする。 ※文部科学白書、科学技術白書、科学技術要覧、国際戦略委員会報告書への掲載。	成果実績	回	4	4	4	-	
				目標値	回	3	3	3	-	
				達成度	%	133.3	133.3	133.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省「研究者の交流に関する調査」								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		継続した基礎的情報の収集・公開を主目的とした事業であり、複数のアウトカムの設定は困難である。								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果		<p>本事業は、我が国と諸外国との年間の研究交流状況等を継続的に調査し、今後の国際交流推進施策の企画・立案、評価、検証などに資することを目的とし実施している。本事業を通じて得られた調査結果は毎年度公表され、科学技術白書に掲載されるなど、政策立案や各国との関係構築のための基礎的情報として活用されており、一定の成果があがっていることから、今後も本事業を継続することが重要である。なお、本事業は、契約の競争性や公平性、透明性を鑑みつつ一般競争入札によって適切な委託先を選定している。</p>					目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)			
改善の 方向性		仕様書の見直し及び入札説明会の充実等を図ることで、より多くの応札者が得られるよう努め、競争性、公平性、透明性の確保を図っていく。必要に応じて、調査項目や調査情報の公表時期について見直しを行ってまいりたい。								

外部有識者の所見									
外部有識者による点検対象外									
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見									
事業内容の一部改善	アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
執行等改善	事業効果を適切に測るために複数アウトカムを設定できないか、引き続き検討する。								
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ								
	-								
	上記への対応状況								
	-								
	その他の指摘事項								
	-								
備考									
国際研究交流状況の概況(調査結果公表サイト) <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/kouryu/">https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/kouryu/</a>									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
平成23年度	37								
平成24年度	218								
平成25年度	214								
平成26年度	212								
平成27年度	200								
平成28年度	182								
平成29年度	189								
平成30年度	189								
令和元年度	文部科学省	-		0181					
令和2年度	文部科学省			0182					
令和3年度	2021	文科	20	0196					
令和4年度	2022	文科	21	0207					

文部科学省  
7.7百万円

我が国の国公私立大学・独立行政法人等と諸外国との年間の研究者交流状況等を分析し、研究者の派遣・受入等の国際交流を推進するとともに、各国と持続的な関係の構築を促進するための基礎的情報を把握する。

↓  
委託【一般競争契約(総合評価)】

【A】  
公益財団法人 未来工学研究所  
7.7百万円

我が国の国公私立大学・独立行政法人等の研究者の派遣・受入数を国別、期間別といった観点から調査を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 用途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	人件費	業務担当職員	6.4			
	業務実施費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額	0.6			
	一般管理費		0.7			
計		7.7	計			
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人未来工学研究 所	4010605000134	我が国の国公立大学・独立行政法人等 の研究者の派遣・受入数を国・期間別と いった観点から調査を実施。	8	一般競争契約 (総合評価)	1	85.8%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	